

## 【平成30年第1回定例会一般質問】

堀内 貴志 議員

### 1 ふるさと応援基金について

- (1) 平成29年度のふるさと納税の見込額とその寄付金の取扱いについて
- (2) 平成29年度に活用した主な事業内容及び平成30年度の予算ではどのように反映されるのか
- (3) 更なるふるさと納税額アップのための取組について

### 2 行政におけるタブレットとICT活用について

- (1) タブレットとICT活用に伴う利便性と問題点について
- (2) 他自治体のICT化の取組の情勢について
- (3) 議会と行政にタブレット導入はできないか

### 3 垂水市ポイ捨て等防止条例について

- (1) この条例の目的と考えられる効果について
- (2) 市民への周知徹底の方策について
- (3) 「環境美化重点地区」モデル地区の設置について

川越 信男 議 員

- 1 青少年派遣事業「夢の翼」について
  - (1) 実施の意図について
  - (2) 内容（国・生徒の選考方法）について
  - (3) 事業の期待・継続について
  
- 2 経済への挑戦・企業誘致について
  - (1) 過去の誘致企業の実績について
  - (2) これまでの取組状況と課題について
  - (3) 今後の企業誘致の推進について
  
- 3 たるみず元気プロジェクトについて
  - (1) 事業の成果と課題について
  - (2) 参加者の反応は
  - (3) 平成30年度の取組等について
  
- 4 南の拠点整備事業について
  - (1) 工事の進捗状況の確認について
  - (2) 民間エリアの開発状況について
  
- 5 市長の政治姿勢について
  - (1) これまでの振り返りと今後について

森 正勝 議 員

1 新庁舎建設について

- (1) パブリックコメントで3つの候補地以外の新たな場所が提起された場合、どのように対処するのか

2 商工業の振興について

- (1) 水産物を含んだ特産品の販路拡大事業においては、これまで得られたデータの分析検証を行い販路拡大に努めたいとある。これまで行った市長のトップセールスの成果と課題について聞く

3 浮津集落の集落水道について

- (1) 一昨年の台風後の復旧の状況と水源地の確保について聞く

梅木 勇 議 員

1 6次産業化について

- (1) 市長の思いを聞く
- (2) これまでの推進・取組について
- (3) 支援を受けた事業者の状況は

2 ごみ対策について

- (1) 収集について
  - ア 収集状況は
  - イ リサイクルの状況は
  - ウ リサイクル率の対策は
- (2) 補助金制度について
  - ア これまでの実績は
  - イ 交付団体の登録者数・回収業者は
  - ウ 補助の見直しは考えられないか

川畑 三郎 議 員

1 農業振興について

- (1) 就農給付金、設備等導入補助について
- (2) I P M導入支援事業について
- (3) 防災営農対策事業について

2 水産業振興について

- (1) 今年度の事業計画について
- (2) 種子島周辺漁業対策事業について
- (3) カンパチ・ブリの人工種苗について

3 農道整備について

- (1) 新年度における整備予定について

4 教育費について

- (1) 青少年海外派遣事業について

5 定住促進事業について

- (1) 新年度における事業整備予定について (ソフト事業)

堀添 國尚 議 員

1 牛根地区の医療体制について

- (1) 牛根地区の高齢者はいざというときの医療に不安を持っている。なんとかできないだろうか。市長の考えや計画を聞く

2 バス停の改善について

- (1) ドラッグイレブン前のバス停は、バスに乗り降りが長びくと渋滞する。この改善を考える必要があるが

3 錦江湾横断道路について

- (1) 気運を高めるための看板の設置について
- (2) 大隅地域の車のナンバープレートへの取組について
- (3) 時間短縮のための方策として、また、桜島島民のための緊急避難道路として、海橋は考えられないか

4 国道整備について

- (1) 霧島市、牛根間の国道の整備について

## 池之上 誠 議 員

### 施政方針について

#### 1 公約について

##### (1) 経済への挑戦について

- ア 水産業・農業の6次産業化について、具体策と将来展望は
- イ 地域包括ケアシステムの推進について、具体策と将来展望は

##### (2) 未来への挑戦について

- ア 定住人口対策について各施策の実績と将来展望は

#### 2 重点施策について

##### (1) 地方創生関連について

- ア 南の拠点整備事業について具体的運営内容は

##### (2) 新庁舎建設関連事業について

- ア パブリックコメント・市井の声などへの対応について

##### (3) 農林業振興について

- ア 就農支援の実績及び高齢就農者への対応と将来展望は

##### (4) 医療体制の充実について

- ア 垂水中央病院の将来展望は

##### (5) 生活環境について

- ア 資源化率の向上と水質保全への具体策と将来展望は

##### (6) 土木行政について

- ア 住宅関連支援策の実績と将来展望及び道路行政について

##### (7) 行政改革と人材育成について

- ア 人事評価制度の果たす役割について
- イ 各公民館主事のおかれている現状と今後の在り方について

## 持留 良一 議員

### 総括質疑 施政方針・予算案

- 1 市民が幸せを感じられる政策と持続可能なまちづくりを
  - (1) 予算案の規模と今後の財政運営について
    - ア 平成28年度決算では、経常収支比率が対前年度と比較して「悪化した」とみる中、今後、人件費や扶助費の増、公債費（公共事業等）や債務負担支払いなどで、財政運営（財政の硬直化等の懸念）は、健全に保たれるか。懸念材料はあるのか。対策は
    - イ 今後の住民サービス等への影響・懸念はないか（市民からは「箱もの行政」「税金をもっと市民生活へ」の声もある）
  - (2) 高齢者の施策はどのように検討されたのか
    - ア 生活実態をどのようにとらえているか  
年金受給額は 平均一国民年金 厚生年金
    - イ 高齢者の貧困率はどのくらいか
    - ウ 生活保護の捕捉率の調査はあるのか。生活と生活保護の必要性との乖離（スティグマ等や自分が利用できることを知らないや周知不足等）は何か、生活保護を利用しやすくするための手立てをどのように考え、具体化しているか。まだ検討する必要があると考えるか
    - エ 高齢者福祉政策で検討すべき課題をどのように考えているか（負担の軽減や補助等生活の支援）

### 特別会計

- 1 介護保険事業特別会計  
～高齢者のみなさんが安心して介護が利用でき、生きがいをもって暮らしていけるために問われる行政の役割と責任（福祉の心を）
  - (1) 介護保険料の値上げの提案について
    - ア 「基金」を活用して、保険料の値上げを抑制されたのは評価するが、高齢者の生活への影響は大きい。どのような影響を与えると考えるか
  - (2) 保険料値上げへの対策の検討はどうだったのか
    - ア 一般会計からの繰入れの検討はなかったのか。全国に事例はあるか



- (3) 保険料負担へ市独自の減免施策（負担の軽減）の検討は
  - ア 全国の事例数はどのくらいか。都城市や沖縄市等の事例をどうみるか。参考に検討すべきではないか

## 一般質問

### 1 農業問題について

～農業の振興策の保障を

#### (1) 就農支援策対策について

ア 農業次世代人材投資事業（旧青年就農給付金制度）について

(ア) 制度の変更での問題はないか（準備型・経営開始型）

(イ) 自治体の支援義務（経営・技術、資金、農地）に問題ないか  
（国は自治体に過大な支援は求めないと回答。JAや農業委員会、普及センターとの連携を強調）。市独自の支援金の引上げの必要性はないか

(ウ) 給付金の返還については「極端なケースが対象で、普通に努力してもらえれば返還対象にはならない」と示しているが、問題はないのか

イ 農村への移住・就農対策の検討は（ワーキングホリデー等の検討は～水産関係では体験が移住・就職へ）

### 2 性的マイノリティ（LGBT）について

～少数者の権利保障のため

#### (1) 性的マイノリティの人たちの人権と生活向上のために

ア 行政の理解と取組状況と必要な対策の検討はあるのか

イ 学校での取組は

文科省「性同一障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」を受けての取組は

### 3 滞納処分問題について

～生活困窮者の救済対策

(1) 生活困窮に陥り、国保税が払えない場合、国税徴収法（徴収法）の要件に合致すれば「執行停止」できるとなっているが、見解と必要な対策があるのではないか（2014年総務省通達を踏まえ）

(2) 預金等の一方的な差押えを防ぐための徴収行政の見直し（徴収の手順の作成）が必要ではないか

ア 個々の納税者の状況の把握と対応が必要

イ 鳥取・児童手当差押え違法判決の重要性（預金となった後も、差

押え禁止債権としての性質を引き継いでいる)

ウ 高岡市「滞納マニュアル」について

差押えの留意事項

- (ア) 差押え禁止財産を含む場合は、その金額を控除して、差し押さえる
- (イ) 差し押さえ金額は、滞納者の生活維持・事業の継続の影響を考慮して決定

村山 芳秀 議 員

平成30年度施政方針並びに各会計予算案について

1 新庁舎建設計画について

- (1) 100年の計であり、将来人口や規模設定の見直し、中心市街地活性化策、地域公共交通等も念頭に議論を深めて、進めるべきではないか

2 今後の財政見通しについて

- (1) 市税、地方交付税の減額が続く中、一般会計からの他特別会計等への繰出金を含め、財源不足が続いており、唯一、ふるさと応援寄付金に頼っている実情がかい間見える。今後、5年間の財政見通しは

3 ふるさと納税コールセンターについて

- (1) 設立間もない(株)垂水未来創造商社と随意契約で行っているが、関連が深い商工会あるいは観光協会に任すべきではないか

4 南の拠点整備事業について

- (1) 未購入土地が全体計画に及ぼす影響について
- (2) 雇用計画は80人程度と答弁されていたが見通しは
- (3) エリア開発に取り組むとあるが、市民に全容が明らかになるのはいつか

5 空き家等対策協議会について

- (1) 活動状況と対策計画について

6 新水道ビジョンの基本的な考え方について

7 敬老パス事業について（買物、通院弱者対策）

- (1) 敬老パス事業の検討結果は
- (2) 公共交通計画の策定について

川尻 達志 議 員

1 繰越明許について

- (1) 今年度、例年と比較し、件数が非常に多いがなぜか
- (2) チェック機能と関係各課の調整は

2 平成30年度施政方針について

3 垂水中央病院・コスモス苑について

- (1) 10年間の指定管理を結んだが、垂水市の10年後の人口問題等の将来起きうることへの対応について

北方 貞明 議員

1 施政方針について

(1) 市制60周年記念事業、瀬戸口藤吉翁生誕150周年について

(2) 新庁舎について

ア 執行部で3案が示されているが、執行部の考えは

(3) 南の拠点について

ア 一部を残して、秋オープンとなっているが、一部とは

イ 正式名称は

2 水道事業について

(1) 城山団地の水道管布設工事、年次毎の計画はどうなったのか